

ごはんだよ

7~8月の様子

段々とままごとに興味が湧いてきた白組さん。
今まで、あまりままごとをしなかった子どもも沢山の
食材を使って遊びも広げていくようになりました。

ままごとの様子



/チョッキン!! /



/できたよ!! /



/トントントン... /



/ジャー ジャー /

/あーん!! /

/いはいはい / このゆみ / あかちゃん /

/ミルクだよ /

/おべんとう / パンダの / できた! / ギョー! /



お世話遊びを
する子どもも
増えてきました。

お医者さんごっこ

お世話遊びから発展した
お医者さんごっこ。最初は、
保育者が医者役をしてエアーで
遊んでいました。次第に、
子どもたちがイメージを持って

ごっこ遊びをするようになりました。

新しいおもちゃを出し、まずは保育者が
やって見せると、子どもたちは、患者役を
楽しめ、次に医者役と患者役に分かれて
遊びました。

/どうかな... /



/こわくないよ /



/もしもしするよ /



おくすり
もらて...

自分の経験と
遊びに発展させ、
人のお世話と
してあげる姿も
見られました。

おみずと
まぜて...



おくすり
のむよ

にくづく /



/いたくないよ!! /

/きこえる... /

/ここがいたい... /

「おねっあるかな」

「しんどいね…」

「おぐすりぬるね」



お医者さんごっこは8月になっても
続き、気付けばクラスのほとんどの
子どもたちがお医者さんごっこに
参加していました。

「こうえんでゴケたの」

「チョコレートたべて
おなかがいたいの」

「みみとあたまが
いたいいたい」

「おねっがあるの」



言葉の数が少しずつ増えて
きたこともあり、一人ひとり病状を
自分で考えて、医者役の保育者に
伝えていました。

お店屋さんごっこ

順番も上手に
並んでいました！



ある子がお店屋さんを開いていたことをきっかけに、始まったおもちゃ屋さん。
「いらっしゃいませー!!」「どれがいいですか?」という明るい子どもたちの声で
クラス内は活気に溢れていました!!



輪っかのおもちゃを
お金に見立てて
遊んでいる
子どもも…

「どれにしようかな…」 / 「いらっしゃいませ!!」 / 「これどうぞ」

お出掛けや買い物など、日常であった出来事をごっこ遊びに自然に取り入れ、
知らないうちに自分たちで想像を膨らませている白組さんです!!
これから子ども達の遊びの広がりを楽しみたい